

英國（貨物輸入開告）  
 英國（輸入貨物）之對立シテ其大  
 小價額ノ如何ニ拘ハズ其月日證明書  
 ヲ發スルコトナルハ三月證明書  
 日發表セラル小包郵便ニ依ルモノ亦  
 英國以外ノ地ニ輸送セラル貨物  
 雖モ英國船ニテ輸出ノ規定ナシト  
 雖モ英國船ニテ輸出スル其船  
 王又ハ船長ハ證明書提出ヲ要求ス  
 證明書ハ京城英國總領事部ニ就キ請

診察 京城午後自一時至六時  
龍山午前自八時至十二時

中村耳鼻喉科醫院







何卒御ヒキに願ひます  
京城新町  
汲月庵  
おとく散白

# ニキビ吹出物

治すには

にきびとり

# 美顔水

常用  
すれば

ニキビ吹出物等を未發に防ぎ、皮膚の荒を去り肌理を美しくし、素顔を美しくする作用あり。尚蚤、蚊、南京虫等に螫されたる時附ければイヤな痛さ痒さを止め毒を消す。

2575.109

定價

特 大 瓶	壹 圓
大 瓶	五 拾 錢
中 瓶	五 錢
小 瓶	貳 錢



浪桃川如燕口濱  
上義三郎速記

A black and white illustration of a person in a dark, patterned kimono standing on a rocky shore, looking out at a small boat on the water. The person has a circular emblem on their sleeve and is holding a long object, possibly a staff or a musical instrument.

待てに何事、岸御ドツカと大地に  
生して、岸御待ち下さいと申上げた  
之餘の儀でもござらん、拙者昨晚  
中に於て諸々考へました所、一旦  
武進の意氣地に依つて石川軍刀齋先  
生と名聞を爭へい、門人澤田奎左衛

門を一つ名付いたし、戸月を  
上府へ。御中を幸ひして石川  
先生を懸念せしめ、遂に軍刀森は  
呆然なを御末期、貴殿師心の仇とし  
て澤田を討たれしは理の當然、敢へ  
て恨らむ所もこれなく、然るに拙  
者猶公を恨み、仇頭として付載ら  
ひしは悉く狂氣亂心の致方、今更願  
目次第もござらん、拙者も今年七十  
一才、尚餘程残りなき身に、  
公へ及んで、罪業の上に罪業を重ね  
され、落着の底の若しきを賜へて何  
かせんか。謝よく尊公の足を受け、  
拙師が改悔の血を以つて洗ひ清めし  
自髪首を捧げて、石川軍刀齋先生在

●新古今昔精 ●松榮本町一  
●唯此 ●讀會 ●集松堂  
●誌 ●高僧演説會 ●寶路一三七八

天の靈に附し奉つらん、之れこそ愚  
卿が先非後悔の印し、謹んで宮本氏  
の足を受けどと決心いたしましたしてご  
ざる、サア斯申すからにはお手前も  
もいたしません、大小は徳の通り諒  
に差置ます、どうか此白髪首をも  
刎ね下さるやうに、この大の刀を  
て前に投出し、兩手を突いて頭を  
下げた、打つて振つた藩師の聲、  
不思議に心得まして宮本武藏惣持時

[illegible]

●家庭常備藥壹組の内容

吾高僧は完全なる家庭音樂を創製せんが爲に其廣  
の比較をして研究に著せしめしより、茲に四閱年  
の世界に存在せる行らゆる家庭音樂の處方を集め、東  
西醫藥大家の學說を參考し、精微なる生理的研究と  
嚴密なる臨牀的實驗とを續け、貴重なる條目を補ひ、幾  
千の研鑽を経て漸くにして完成せり。今茲に研究の資  
料とせし參考書類の一端を示し、諸君が若く家庭  
音樂を著せんとするに當り、一助と爲す。

醫學博士	田中	友治氏	著	輓近に於ける花柳病診斷及療法	須子太一氏編	國科大學各縣附病院
醫學博士	旭	憲吉氏	共	著	花柳病診斷及治療法	醫學博士 梶井竹吉氏監修
醫學博士	山田	弘倫氏	著	花柳病學	醫學士 宮田權之丞氏編	醫學士 久田新一氏編纂
醫學博士	高井	八百珠氏	著	花柳病學	醫學士 福島高純氏著	醫學士 河合三郎氏著
醫學博士	憲吉氏	憲吉氏	監修	泌尿生殖器病學	醫學士 日英醫學士 山本協會士	醫學士 山本協會士
醫學博士	佐藤	三吉氏	監修	外科科全書	醫學士 日英醫學士 山本協會士	醫學士 山本協會士
醫學博士	佐藤	進氏	著	婦人科診斷及治療學	醫學士 日英醫學士 山本協會士	醫學士 山本協會士
醫學博士	緒方	十右衛門氏	著	婦人科診斷及治療學	醫學士 日英醫學士 山本協會士	醫學士 山本協會士

獨逸	科大學內科教授	ライデン氏	臨床講義
同	同	ゲルハルト氏	内科病論
同	同	セナターレ氏	
同	同	メンター氏	
同	助手	ブルイ共	
同	同	クロネル氏	

●家庭常備藥壹組の内容

健胃  
強腸  
ペントリクリーミン

急性慢性胃腸炎、食慾不振、嘔吐、下痢、消化不良、  
肝胃虛弱、胃潰瘍、胃酸過多、胃下垂、胃腸痛、  
腸痛、疝氣等、即ち食ひ過ぎた時、飲ひ過ぎた時、

**消毒撒礫酸**

本劑は無毒強力なる殺菌、防腐、消毒劑であります。口腔内の含膿、皮膚病の洗滌用、下疳、瘡癤潰瘍、包皮炎等あらゆる皮膚病の洗滌用、に最も確實なる効力があります。

一、ハーン及ホーフニルト氏著  
二、カバウン・カルロア氏著  
三、ヘルマン・ハーゲル氏著

四、藥學新報

赤木勘三郎氏著

左近氏著

醫學士

藥學院師

[illegible]

食あたり腹痛の時、何となく胸寒く口中生水の液  
吐き下しの時など胃腸に障害の起つた場合は直ち  
角を服用するのです。最も迅速に卓効が顯はれま  
す。

止瀉薬 **タンナルビス**

本剤は急性腹腸管兒、霍亂、瀉瀉、下痢性慢性腸服

本劑は、創傷、擦過傷、乾皮癢、腫痛、皮膚潰瘍、火傷、凍瘡、魚鱗、贅肉、痔瘡、藥毒の癢をしのぶ小兒に最も適する。

時氣吐や嘔瀉などに本劑を用ふる時は、恐るべき傳染病の感染を預防する事が出来ませす。

**防腐軟膏**

五、醫學評論  
六、醫學年報  
七、グーアレンツ氏  
八、デトリッヒ氏  
九、素戔王國藥物學會纂

同外科教授	同外科教授	同外科教授	同助手	同助手	同助手
ヒル ビ ラ ン ド 氏	ロ エ ス デ ン 氏	グ オ ル ツ ウ ビ 氏	キ ヨ リ ダ ン 氏	ク ラ イ エ ル 氏	ラ イ エ ル 氏
述	纂	臨牀講義	外科病	外科病	外科病
外科	外科	外科	外科	外科	外科

等の下痢を止むるに確効があります。腸結核（腸  
痼、しぶりは）等、凡て、下痢止として之れ以上  
は他にないと言つても宜い程で如何なる家庭によ  
備へ置かざるべからざる良薬であります。

新刊下 オブスタリン

下痢、嘔吐、腹痛、  
症、瀉瀉など、應用の如く、  
も常に備へ置くべき良薬であります。

氏方井点眼水

本製は、加答兒性結膜炎、  
結膜赤腫、加答兒（急性性結  
膜炎）に、

十、獨乙藥劑師會藥物學會監  
十一、ダクトルトラツチユル氏  
十二、合衆國藥方家  
十三、メルク會社索引  
十四、ブツハイステル氏

[illegible]

本劑は使役即ち通じの靈い時に服用すれば消化器  
で歩に快く通じます。下劑として理想的の良藥で  
疳疾に用ひても卓効があります。

驅虫  
新劑  
アスカリン

本劑は蟬虫（蛭虫、圓虫）の驅除に最も確實な効力

[illegible][illegible]

ります。其他蜂虫の驅除にも有効です。虫が御座  
じた場合は此の確効ある虫下しを早速御服用なさ  
しなす。

鎮痛熱 **アセタリン**

感冒（風邪、傷風、胃風、邪熱、虛熱、血熱）流  
感（インフルエンザ、天行中風）頭痛、痛、半頭風

[illegible]

同皮膚科教授	同産科教授	同産科教授	同産科教授
レツセル氏講	ダシセロウ氏	リブマン氏	ブナム氏
述	臨床講義	福	諸
皮膚生殖	科婦人	瘻	瘻
器病及微	科療法	瘻	瘻

猪、園、飽、腹、質、斯、腦、氣、筋、症、痛、風、一、擦、咳、百、日、咳、  
高、熱、ある、肺、炎、一、肺、體、發、炎、一、肺、熱、禁、煙、一、痰、氣、結、胸、  
衝、一、肺、結、核、一、肺、癆、一、内、傷、寒、証、等、の、熱、性、諸、病、の、下、  
して、又、頭、痛、一、神、經、痛、一、リ、ウ、マ、チ、ス、な、ど、の、鋭、性、  
して、決、く、一、べ、から、ず、の、良、藥、で、あ、り、ま、す。

[illegible]

同内科教授	セナトール氏	臨床講義	毒癰
同ヘルプ助手	ロシエン氏	治療法	
同神科教授	チーエン氏	癰	神經病癰
同助手	ケンブネル氏	癰	
同教授	ツツチン氏	癰	精神病癰
同助手	スエー氏	癰	

醫學博士	醫學士	醫學博士	醫學士
人科婦	產科婦	眼科花柳病	皮膚科
安妻	大石貞夫氏	小川劍三郎氏共著	岡村龍彦氏
勝國氏(下卷)			岩田一氏

醫學博士	三輪信太郎氏	若	近世兒科學
醫學博士	長尾美知郎氏	若	近世兒科學
醫學博士	河本劍三郎氏	若	近世兒科學
醫學博士	吉田丑三郎氏	共著	近世耳鼻喉
醫學博士	東京齒科醫學專門學校	編纂	齒科學講義

發行せり。

三十有餘種の家庭藥中、如何なるものをも、常備八種を以て、一冊にまとめる。要點に應じ、遠方の注文に對し、小包送費は當方に於て負擔す、され

同教授 醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士
クロネル氏 井上善次郎氏 櫻橋三郎氏 著	纂中 井上内科新書 病理總論講義	共譯 鳴氏內科全書	岡田榮吉氏 楠本長三郎氏

醫學博士	土肥	慶造氏	著	皮膚科
醫學博士	山田	憲吉氏	共	皮膚病科
醫學博士	志立	富松氏	著	及治療法
醫學博士	松浦有志	太郎氏	述	近世花柳病
				花柳病論

醫學博士 陸軍二等醫官正渡邊	醫學博士 醫學博士 醫學博士	醫學博士 醫學博士 醫學博士
入澤 達吉氏 譯	額田 豐氏 著	小爲替、若くは振替にて御送金あれ
櫻だべル方	筒井八百張氏 著	す、代金引換小包の注文に限り。引換
	溫行氏 著	ち十七歳を郵便切手にて必ず前送せ
	某處方全書	詳細は別項を御熟讀あれ。
	東京地方市廳	

京  
城  
南  
大  
門

ド  
ラ

夕何車場通

智會家庭藥

日 神 2 4 5 11

長電二五  
替京城四六  
振電七

ドラッグ商會家庭藥部

長電  
電  
二  
五  
六  
七  
番

京城南大門外停車場通









吾が商業會議所にては種々之れ  
決方法に付研究する所ありし

道別に示せば左の如し  
 ▲京畿道 内地人側六萬四千三百圓  
 餘、瓦葺の九十八錢、木挽の九十六錢  
 餘、瓦葺の八十八錢、左官の八十四

川市場に於ける内地米の花荷は依検査の爲め今回土地調査局にて組織として潤滑にて且天候順調なるをせる特別検査班の第一班は十四日平▲流石の中將も之を聞くにオヤ／＼と御同情中してツイ涙が出ましてと

魚半 活牛 移出 問屋 上杉 古太 郎商 店

先は内治にてやるがさも無いとす  
 たるが此者は山東省萊州府千度縣生



## 三三三

藝者の名前を  
満場大笑ひだつた。五

新らしい魚イサナでも

卷之二

神聖度弱、  
効内用精  
能

[illegible][illegible]

荆妻龜尾子儀  
像朝鮮德府府君所養生不相死  
疾去十月十五日遂於養生前知實  
告其時侯也

追而求之十七日午後五時可  
自它に於て神基式執行す

大正五年七月十六日  
京城南米倉町師樂舍主

親戚友代志岐信太郎  
總代緒方豐滿

## 葬具一式

造花生花 花圈 喜贈品  
裝飾品 其他供物 一切  
喪禮 本社の主旨に候間

御用命奉希上候  
京成永樂町 二丁目

## 大葬社

電話一〇五五

旭町二丁目(京成府藤樹)  
葬式可成早急土

電話一五六七番

  
**朝鮮葬儀社**  
 電話五六二番

**葬儀請負**  
 供花御寄贈品一式  
 京成本町三丁目(有樂町)

二河原市  
 鐵道馬車の  
 設備有之候  
**中河原重吉**  
**井上芳太郎**  
 電話九五七番



宮病血の道と

ながら常に「西の道」を求め、死に臨みながら遂に目的を達せざるゝ又鯉を逃がした折柄あれてして、又いゝご後しに徳を湛ながら臨み支度をした

東京大相撲星取表

(○は勝ち●は負)

東方 玉四三二

休休 休休  
 預○ 預●  
 宇○ 宇●

西方 玉四三二

休休 休休  
 預○ 預●  
 宇○ 宇●

[illegible][illegible]

行つて了。膝おねをらつて来よ。龍山、夢の家  
 日、天宮の列がある。間、八  
 「ナル程それで無公が、御晩許へ」と所つて  
 するのだ。同十六日  
 日、川上十子と上りて同十七日  
 日、俗名、女。同十八日  
 日、永國一、唐國恩。同十九日  
 日、川上十子と上りて同二十日  
 日、俗名、女。同二十一日  
 日、永國一、唐國恩。同二十二日  
 日、川上十子と上りて同二十三日  
 日、俗名、女。同二十四日  
 日、永國一、唐國恩。同二十五日  
 日、川上十子と上りて同二十六日  
 日、俗名、女。同二十七日  
 日、永國一、唐國恩。同二十八日  
 日、川上十子と上りて同二十九日  
 日、俗名、女。同三十日  
 日、永國一、唐國恩。同三十一日  
 日、川上十子と上りて同三十二日  
 日、俗名、女。同三十三日  
 日、永國一、唐國恩。同三十四日  
 日、川上十子と上りて同三十五日  
 日、俗名、女。同三十六日  
 日、永國一、唐國恩。同三十七日  
 日、川上十子と上りて同三十八日  
 日、俗名、女。同三十九日  
 日、永國一、唐國恩。同四十日  
 日、川上十子と上りて同四十一日  
 日、俗名、女。同四十二日  
 日、永國一、唐國恩。同四十三日  
 日、川上十子と上りて同四十四日  
 日、俗名、女。同四十五日  
 日、永國一、唐國恩。同四十六日  
 日、川上十子と上りて同四十七日  
 日、俗名、女。同四十八日  
 日、永國一、唐國恩。同四十九日  
 日、川上十子と上りて同五十日  
 日、俗名、女。同五十一日  
 日、永國一、唐國恩。同五十二日  
 日、川上十子と上りて同五十三日  
 日、俗名、女。同五十四日  
 日、永國一、唐國恩。同五十五日  
 日、川上十子と上りて同五十六日  
 日、俗名、女。同五十七日  
 日、永國一、唐國恩。同五十八日  
 日、川上十子と上りて同五十九日  
 日、俗名、女。同六十日  
 日、永國一、唐國恩。同六十一日  
 日、川上十子と上りて同六十二日  
 日、俗名、女。同六十三日  
 日、永國一、唐國恩。同六十四日  
 日、川上十子と上りて同六十五日  
 日、俗名、女。同六十六日  
 日、永國一、唐國恩。同六十七日  
 日、川上十子と上りて同六十八日  
 日、俗名、女。同六十九日  
 日、永國一、唐國恩。同七十日  
 日、川上十子と上りて同七十一日  
 日、俗名、女。同七十二日  
 日、永國一、唐國恩。同七十三日  
 日、川上十子と上りて同七十四日  
 日、俗名、女。同七十五日  
 日、永國一、唐國恩。同七十六日  
 日、川上十子と上りて同七十七日  
 日、俗名、女。同七十八日  
 日、永國一、唐國恩。同七十九日  
 日、川上十子と上りて同八十日  
 日、俗名、女。同八十一日  
 日、永國一、唐國恩。同八十二日  
 日、川上十子と上りて同八十三日  
 日、俗名、女。同八十四日  
 日、永國一、唐國恩。同八十五日  
 日、川上十子と上りて同八十六日  
 日、俗名、女。同八十七日  
 日、永國一、唐國恩。同八十八日  
 日、川上十子と上りて同八十九日  
 日、俗名、女。同九十日  
 日、永國一、唐國恩。同九十一日  
 日、川上十子と上りて同九十二日  
 日、俗名、女。同九十三日  
 日、永國一、唐國恩。同九十四日  
 日、川上十子と上りて同九十五日  
 日、俗名、女。同九十六日  
 日、永國一、唐國恩。同九十七日  
 日、川上十子と上りて同九十八日  
 日、俗名、女。同九十九日  
 日、永國一、唐國恩。同第一百日

[illegible]

**天津村兄弟商會**

特約店  
廣古北  
城島  
阿部藥房  
松屋藥房

電話一四八〇  
振寄五三三

荆妻龜尾子儀  
像朝朝鮮總督府所養生院不相入院  
去の十五日に遂に養生院に相入院  
に告げ候に生前此知實言  
自道來に於て十七日午後五時  
大正五年七月十六日  
京城南米倉町師樂舍主  
志岐信太郎  
志岐吉彦  
親戚  
總代  
友代  
緒方  
豐滿

葬具一式  
造花 生花 花環 喜贈品  
裝飾品 其他物一切  
親切丁寧は 本社の主旨に候間  
御用命奉希上候  
京成永樂町 二丁目  
大葬社  
電話一〇五五番  
電一五六七番

二河原  
鐵馬車の  
設備有之候  
中河原重吉  
井上芳太郎  
電話九五七番

葬儀請負

供花御寄贈品一式  
京城本町三丁目（京橋）  
朝鮮葬儀社  
電話五六二番



